

Tidal Enterprise Orchestrator : WebLogic Server の JMX のアダプタの設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Weblogicサーバ](#)

[手順](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、JMXアダプタをWebLogic Serverにリンクするために必要な設定手順について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Tidal Enterprise Orchestrator 2.2+およびWebLogicに基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

Weblogicサーバ

これらの詳細には、設定が必要でした。

手順

次のステップを実行します。

1. WebLogicサーバでは、一番下の行をsetdomainenv.cmdまたはsetdomainenv.shに追加する必要があります。ポート9999が使用されますが、任意の一意の番号を指定できます。
2. `JAVA_OPTIONS=%JAVA_OPTIONS% -Dcom.sun.management.jmxremote -Dcom.sun.management.jmxremote.port=999 -Dcom.sun.management.jmxremote.ssl=false -Dcom.sun.management.jmxremote.authenticate.`
3. JMXアダプタのTEO設定では、これはオーバーライドである必要があります。hostをWebLogicサーバのホストに置き換え、`service:jmx:rmi:/host/jndi/rmi://lhost:port/jmxrmi。`

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)